

平成 28 年度（2016 年度）事業報告

はじめに

今年度も、ボランティアの皆さんを始め多くの方たちのご協力をいただき、大地震からの復興もままならないネパールの若者達や、都市との貧困格差の著しいカンボジア農村地帯の女性や子どもたちへ、東日本大震災の被災地へと、継続した国内外支援を実行することが出来ました。

東日本大震災から 6 年が経過した今年 3 月の復興支援イベントでは、気仙沼の支援先の活動写真を紹介し、おおぜいのお客様と共に、未だ復興途中にある被災地の人々に思いを寄せる機会としました。2015 年 10 月から取り扱っている気仙沼の海産物は日常的に東北に思いを馳せる産品としても有効で、復興支援につながっています。

一方、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染は収束せず、深刻な現状にも心が痛みます。今年度は福島からの自主避難者支援団体への住宅支援を新たに実行しました。

4 月に発生した熊本大地震に対しては発生直後に熊本県への緊急支援を実施し、ショップ内に募金箱を設置して協力を呼びかけました。その後、より甚大な被害を受けた熊本県益城町への復興支援も実行しました。

10 月の「貧困なくそうキャンペーン」では、身近にある貧困に目を向け、期間限定で、家庭に眠っている食料品の寄付を募る「フード・ドライブ」活動に取り組みました。

一般社団法人 WE21 ジャパン厚木による公益認定取得については、逐次経過報告を受けてすすめてきましたが、3 月 23 日をもって一端申請を取り下げた報告を受けました。

リユース・リサイクル推進事業におきましては、ファストファッションが主流になり百貨店なども影響を受けています。それに伴って寄付品の質も変化してきており、チャリティショップ事業に課題を残しました。

■基本方針

- 1 地域の人たちに働きかけて、活動への共感者を増やす。
- 2 一般社団法人「WE21 ジャパン厚木」に協力し、公益社団法人への移行をめざす。

1 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1) WEショップの運営

(1) 厚木1号店と厚木荻野店の運営

WEショップ厚木1号店及び厚木荻野店の2店舗の事業を円滑に進めました。

2016年度活動実績表 人数は延べ人数 () 内前年対比

	厚木1号店	厚木荻野店	合計
寄付者数	3,452件 (97%) 内新規 83件 (75%)	1,490件 (99%) 内新規 109件 (82%)	4,942件 (98%) 内新規 192件 (79%)
顧客数	21,643人 (100%)	7,842人 (97%)	29,485人 (99%)
売上高	16,980,532円	7,433,012円	24,413,544円

厚木1号店

- *年々寄付品件数が減少し、それに伴って売上も減少しています。特に後半の3か月の下降は著しく、次年度に新たな課題を残しました。
- *相次ぐスタッフの辞任により後半はハードな活動となりましたが、ボランティアさんとの合力で何とか乗り切ることが出来ました。
- *年度末に会議室のレイアウトを大幅に変更し、新年度から経費対策として倉庫兼多機能室として活用できるようにしました。
- *着物を購入して下さったお客さま優先に、1回500円の講習料で3月から月2回の「着付け教室」を始めました。

厚木荻野店

- *2015年5月に始めた「WEマルシェ」(毎月28日に開催)は2017年3月で20回目となりました。広い駐車場を利用して、地元の農家の方や荻野里山の会の皆さん等に野菜やスモークチーズ等を販売していただくイベントは定着しつつあります。今後は出店者を広げながら外でのショップ企画も検討していきたいと思えます。
- *新規の寄付者及び顧客数が減少しています。それがそのまま売上の減少につながっています。お店の存在をもっと知ってもらえるよう工夫をしていきたいと思えます。

(2) WE21ジャパンとの契約

WE21 ジャパンとの基本契約については、新たな契約基準に伴い下記の金額を支払しました。

物流委託費

2店舗で576,000円

商標使用料	2店舗で 240,000 円
グループ活動推進費	法人として 15 万円
	総額 966,000 円

(3) ショップスタッフ体制

4月から2人の新しいスタッフを迎えて体制づくりにつとめました。

★2017年3月末 非常勤スタッフ 6人 1号店アルバイトスタッフ 2人

2) ナカノ（株）との連携

寄付品のうち販売出来なかった衣類（以下ファイバー）については、WE21 ジャパンと契約している故繊維業者(株)ナカノへ搬入し、リサイクルを推進しました。

3) 市内高齢福祉事業所との連携

ファイバーのうち綿素材の衣類は別に仕分けをし、市内3か所の高齢福祉事業所に提供しリサイクルを推進しました。

4) リメイク活動の推進

- ・覚書を交わしているリメイクボランティアの会「おりひめ」に、衣類等の材料と活動場所を提供しました。

★WEショップ等で販売された作品点数 278点

- ・「おりひめ」からWE21 ジャパン厚木へ、指定寄付の寄付金をいただきました。

★寄付金 12万円

★寄付先 宮城県気仙沼市現地 NPO 法人「生活支援プロジェクト K」が展開する「地域コミュニティ形成事業」

2 アジアの人々、とりわけ女性の生活向上と

自立のための活動を支援する事業

1) 国内及び海外支援フェアの開催

支援先を指定した下記イベントを開催し、全額支援金としました。

総額：2,670,466円

実施月日	イベント名	指定支援先	金額	開催場所
7月14日～15日	半額セール	ネパール カンボジア、 東日本大震災	193,439円	厚木荻野店
7月25日～26日	半額セール	ネパール カンボジア、 東日本大震災	304,857円	厚木1号店
8月17日～18日	バッグフェア	ネパール カンボジア、 東日本大震災	490,000円	厚木1号店
8月22日～23日	着物フェア	ネパール カンボジア、 東日本大震災	137,410円	厚木荻野店
12月7日～8日	半額セール	ネパール カンボジア、 東日本大震災	137,271円	厚木荻野店
12月15日～16日	半額セール	ネパール カンボジア、 東日本大震災	372,108円	厚木1号店
1月5日～8日	和の市	ネパール カンボジア、 東日本大震災	790,858円	厚木1号店
1月10日	海外支援 フェア	ネパール カンボジア、 東日本大震災	136,438円	厚木1号店
3月11日	復興支援 セール	東日本大震災	69,088円 38,997円	厚木1号店 厚木荻野店

2) 国内 NPO、NGO を通して海外及び国内支援の実施

総額：3,157,432 円(店頭募金を含む)

支援国等	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
海外			
カンボジア	認定 NPO 法人 「幼い難民を考 える会 (CYR)」	公立地域幼稚園への教材提供と保育者研修 (20 州・306 か所)	50 万円
	認定 NPO 法人 「国際保健協力市 民の会(シェア)」	スバイアントー郡における子どもの栄養改 善普及プロジェクト	50 万円+
	認定 NPO 法人 「国際子ども権利 センター(シライツ)」	スバイリエン州コンポーロンタナオコミュ ニティにおけるベトナムへの出稼ぎによる子 どもの人身売買、児童労働防止事業	10 万円
ネパール	NPO 法人ベルダレ ルネーヨ(ネパリ・パ ザーロ)	カンチャンジャンガ紅茶農園周辺の子ども たちへの高等教育支援	817,620 万円 (募金 7,620 円 含む)
国内			
東日本大震災復興支援			
宮城県 気仙沼市	NPO 法人 「生活支援プロジ ェクト K」	地域住民の生活支援、地域コミュニティ形成 の促進プロジェクト	765,414 円 (リメイク「おりひめ」か らの寄付金 12 万円、 布ぞうり等販売寄付金 239,200 円、募金 15,028 円含む)
東京都	NPO 法人 「ココロとカラダ を育てるハッピー プロジェクト」	福島・自主避難者への住み替え助成金事業	30 万円
熊本地震復興支援			
熊本県	熊本県庁	熊本地震緊急支援	60,799 円 (募金 30,799 円 含む)
	益城町社会福祉協 議会	益城町地域福祉活動復興支援	113,599 円

3) その他の寄付

- ・書き損じはがき 254 枚を認定 NPO 法人「幼い難民を考える会」に寄付しました。
- ・海外コインは、ユニセフへ寄付しました。

4) 貧困なくそうキャンペーン」の開催

今年も以下の内容で WE ショップ 2 店舗でキャンペーンに取り組みました。

★ 開催期間：10 月 17 日～22 日

★ 内容：テーマ：「身近な日本の貧困を知る」

ショップ店頭で「フード・ドライブ」を実施

★寄付先：「NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン」と「NPO 法人地域福祉を考える会」に食品を寄付しました。

5) 3.11 東日本大震災復興支援企画

- ・震災発生から 6 年目を迎える東北を応援するために、気仙沼の(有)ムラカミから海産物を購入しました。

★金額 1,430,080 円

6) フェアトレード事業の推進

(1) 事業の拡大

フェアトレード品 年間購入金額 750,891 円

フェアトレード品仕入先団体別購入金額 ()内は取り扱い商品の生産国、主な品

ネパリ・バザール (ネパールの珈琲、紅茶、カレー、他)	第三世界ショップ (ブラジルの珈琲、インドのヤギ革製品及び「地球食」の産地、チョコレート)	フレンズ・オブ・アシーラ (パレスチナのオリーブ石鹸)	自立するモンゴルの母たちの会(フェルトスリッパ)	シャンティ国際ボランティア会(タイ、カンボジア等の工芸品)
308,924 円	308,909 円	10,589 円	59,329 円	63,140 円

(2) 他団体への働きかけ

- ①「ヒューマンサポートネットワーク厚木(以下 HSN)」の会員団体による共同購入
昨年同様フェアトレード品の共同購入にご協力いただきました。

★2016 度 HSN の皆さんによる購入額 合計 202,095 円

3 地域市民との共育活動及び広報活動

1) WE 講座等の開催

事業推進に必要な知識や情報を得たり活動への共感を広げるために、WE 講座や講演会を開催しました。

	テーマ	講師等	場所
6月2日	第1回 WE 講座 カンボジア支援先報告 「村の保育園と子どもたち」	認定 NPO 法人「幼い難民を 考える会 (CYR) 」 カンボジア事務所長 チャン・スレイさん	厚木1号店 の入居ビ ル4階会場 12名参加
11月21日	第2回 WE 講座 「今、なぜ子ども食堂か？」	伊勢原市で活動する「地域 福祉を考える会」事務局長 中台和子さん	同上 15名参加
2017年 2月13日	第3回 WE 講座 カンボジア支援先報告会 「村の保育園の現状及び今 後の事業計画」	認定 NPO 法人「幼い難民を 考える会 (CYR) 」 事務局長 鎌田苑子さん	同上 21名参加

3) 広報活動の推進

毎回ニュース担当者を決め、発行にむけての企画案、内容の検討を重ね、運営委員会へ提案。WE21 ジャパン厚木の活動への共感者、参加者を広げるため、地域への情報発信に努めました。

(1) 寄付品募集ちらし

5月：2016年度版寄付募集ちらしを3000枚作成しました。

(2) ローカルニュースの発行

「WE21 厚木ニュースNo.51」 発行日 2016年 7月 1000枚発行

「WE21 厚木ニュースNo.52」 発行日 2016年 11月 1000枚発行

「WE21 厚木ニュースNo.53」 発行日 2017年 3月 1000枚発行

(3) ショップ広報の充実

①ポスターの掲示

各イベントや講座の前には、事前にお知らせポスターを店内に掲示することができました。

②寄付チラシポスティングの実施

スタッフ、ボランティア、KTC 中央高等学院の生徒の皆さんがポスティングをしました。

(4) 地域メディアへの掲載

3月にリベルタに活動紹介及びスタッフ募集記事を掲載しました。

(5) ホームページの活用

①トップページは毎日約30件の検索数がありました。

②法人全体情報はホームページで対応できますが、毎日の動きなどはフェイスブックでの細かな情報発信が必要です。

4 事業を進めるための組織活動

1) 運営委員会

(1) 運営委員会の定例開催

月例運営委員会を開催し、総会方針にもとづき組織運営をすすめました。

(2) 会員 期首 96名 期末 86名

会員の皆さんには毎回ニュースを送り、情報の共有を図りました。

(3) ボランティア参加の推進

①ボランティアミーティングの開催

年間を通してショップ業務に意欲的に参加していただきました。各店舗において定期的に開かれたボランティアミーティングでの活発な意見や提案は、ショップ業務に大きな力となりました。

★厚木1号店 3月末現在 登録 13名

ボランティアミーティング開催 10回（忘年会含む）

★厚木荻野店 3月末現在 登録 21名

ボランティアミーティング開催 5回（新年会含む）

②故繊維会社（株）ナカノ秦野営業所見学会の開催

WEショップでリユースできなかった衣類のリサイクル先を見学し、現状を学びました。

★2月27日 ボランティア4名 スタッフ3名

(4) 20周年実行委員会の立ち上げ

2017年4月25日で設立20年目を迎えるにあたり記念イベントを開催することを決定しました。ボランティアの皆さんと一緒に実行委員会を立ち上げ、準備を進めました。

2) 一般社団法人WE21 ジャパンへの協力

公益認定に向けて、一般社団法人WE21 ジャパン厚木が内閣府との事前相談を進め10月31日に正式に申請を行いました。その後担当者からの意見・質問に対応しながら調整が続いた結果、3月末に一端申請取り下げを行った報告を受けました。

3) WE21 ジャパングループとの連携

グループ会議には代表が参加し、グループ内での情報交換に努めました。

4) 地域及び他団体との連携

(1) 「ヒューマンサポートネットワーク厚木」との連携

①毎月の定例会に参加し、市内で活動する20の市民事業団体との情報交換に努めました。

②5月15日 サービスハウスポポロ主催の「ポポロまつり」に出店しました。

③10月22日 ケアセンターあさひ主催の「あさひまつり」に出店しました。

(2) 地域の学校への協力

厚木1号店では、KTC中央高等学院厚木キャンパスの「ジョブシャドウイング」のプログラムでの学生を1年間受け入れました。今年で4年目になります。

(3) 見学等の受け入れ

視察、見学等を受け入れました。

月 日	団体名等
7月9日	WE21 ジャパンみやまえ スタッフ及びボランティア見学
10月21日	WE21 ジャパン青葉 リメイク活動の見学と交流